

令和7年度第1回灘区地域包括支援センター運営協議会

議事録

I. 開催日時：令和7年8月4日（月）13：30～14：40

II. 開催場所：灘区役所5階 健康教育室

III. 出席委員：10名（欠席委員1名）、傍聴人：0名

IV. 議題

1. 令和6年度地域包括支援センターの運営状況について

（1）各センター月別実績報告書

（2）センターにおける地域ケア会議の実施状況について

（3）センター連絡会等の実施状況について

2. 令和7年度センター事業計画書について

【以下、非公開】

3. 特定事業所へのサービス集中率について

4. 地域包括ケア充実のための事業目標（地域活動報告書）について

V. 主な意見と事務局回答

・ 議題1について

（委員）：高齢者虐待の件数が、前年度と比較し増加している理由として、新規事案の発生や、前年度からの継続支援が推察される。支援が終結するという判断はあるのか。その場合、どのような状況をもって判断するのか。

（事務局）：あんしんすこやかセンター、ケアマネジャー、区役所等によるコア会議やケース検討会議を行い、ショートステイの利用等により介護負担の軽減を図ることで虐待行為が見られなくなったり、施設入所等にて分離により終結している。

（委員）：経済的虐待では、サービス利用が難しい場合もあるため、虐待行為がなかなか収まらない。その場合の支援策を検討していく必要がある。

（委員）：今年度より、薬局でフレイルの可能性のある方の情報を、あんしんすこやかセンターなどに提供するという趣旨が盛り込まれた。薬局でフレイルチェックができることを、あんしんすこやかセンターから周知する予定はあるか。

（事務局）：神戸市では市内在住の70歳の方にフレイルチェックのご案内を送付した。薬

局でフレイルチェックを実施した方で、担当のケアマネージャーがいない場合等は、あんしんすこやかセンターへの紹介状が出ることも把握している。フレイル啓発時に地域住民へ周知していく。

・ 議題2について

(委員)：民生委員の高齢化や、なり手不足の課題があるため、人員確保に向けた働きかけをしてほしい。民生委員は自宅や地域の情報を多く知っており、今後はより一層連携していく必要がある。

(委員)：民生委員は児童委員を兼ねており、高齢者虐待だけでなく、児童虐待についても関わっている。他に白杖や車いすの練習を地域住民と行う等、障害者福祉の取り組みも行っている。各取り組みの中で、あんしんすこやかセンターや社会福祉協議会等に相談することもあるため、連携しながら対応していきたい。

(事務局)：民生委員の活動は幅広く、地域に関する多くの情報を持っている。そのため連携強化が重要であり、そのための支援に引き続き取り組んでいきたい。

以上